

## Ⅱ 編集後記 Ⅱ

記録的な暑さの続いた夏でした。『史観』第一六三冊をお届けします。今回は、「論文」が東洋史・西洋史から各二本、日本史・考古学から各一本、そして「彙報」という構成です。

「論文」は、古代ローマの剣闘士養成所の運営形態、中世後期ドイツ・ユダヤ人における「ディアスポラ」の枠組みの再検討、特殊性・境界性によって古代中国王権を支えた非農業民、南宋茶法の茶販売区分、大正期における内大臣による「輔弼」形態の変容、環状木柱列と祖霊信仰の相関など、時代・地域ともに広範にわたっており、果敢に他の専攻領域へと踏み込んで論を進めている論考が目立つのは、「史学人」という本来、横断的であることを旨とする組織から見て、嬉しい限りです。また、「彙報」の方では六月、二回にわたって行われた恒例の連続講演会の記録、ならびに各コースから推薦のあった二〇〇九年度提出の卒業論文梗概を掲載しております。「論文」と併せて味読していただければ幸いです。

本冊の編集に当たっては、日本史コース助教の藤野裕子先生に細かなところまで御世話になりました。表紙を飾るのは明治二三年頃の東京専門学校全景の写生画です。図版の掲載を許可していただいた早稲田大学史資料センターに御礼申し上げます。

(鶴見太郎)

### 執筆者紹介(掲載順)

松田好史 東京大学情報学環学術支援  
専門職員

柿沼陽平 日本学術振興会特別研究員PD  
中国社会科学院歴史研究所訪問学者

樋口能成 早稲田大学大学院文学研究  
科博士後期課程

梶田知志 早稲田大学大学院文学研究  
科博士後期課程

古川誠之 早稲田大学文学学術院助教

山本典幸 早稲田大学文学学術院兼任講師

平成二十二年九月十九日印刷  
平成二十二年九月二十五日発行

### 史観

第百六十三冊  
定価 一千円

編集者 岡内三真

印刷所 株式会社 白峰社

発行所 早稲田大学史学会

東京都新宿区戸山一―二四―一  
電話東京(三三三)四一四一  
振替〇〇一九〇―八一四六二九